

<h1>「夢」</h1> <p>振だより</p>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 憲 章             </div>	みんなが自分の「夢」を持っている 「夢」を持ち続けることは生きる証 ふくらんだ「夢」は明日への力となる 「夢」の実現には努力がいる 「夢」の輪を広げよう みんなの「夢」は日本中の人の「夢」につながる 徳之島の「夢」を世界の「夢」の輪にしよう
<b>第20号 YUMESHIN</b>		発行所 NPO 法人徳之島「夢」振興会議本部事務局 編集 松元 啓一郎 他 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-25-15 IBビル2階 (池袋西口・津田事務所) TEL03-3987-4641 FAX03-5953-5622 「夢」振・フラワー事務局 〒891-7602 鹿児島県大島郡天城町松原83-2 Tel.090-8432-2371 徳之島事務所 〒891-7115 鹿児島県大島郡徳之島町下久志 畑山育男様方 Tel.090-3471-4700	
	徳之島「夢」振興会議 ロゴマークの説明	「夢」の実生(みしよう=種から芽を出して成長すること)を表現 色彩・・・花は紅の情熱、葉は緑の活力 葉・・・双葉は象形文字の無限大、若芽は未来 花・・・歓喜・・・夢の表現	
		<a href="http://www.tokunoshima-yumeshin.or.jp/">http://www.tokunoshima-yumeshin.or.jp/</a> 「夢」振興会議のホームページでもごらんになれます	



## 「夢振」20周年を迎えて

理事長 横田捷宏

コロナ蔓延のため会合や相互訪問が困難になり、3年間にわたって「夢振」の諸活動は大きな制約を受けてきました。徳之島で植樹する花いっぱい運動は徳之島空港・港の花苗植え替えを除いて取り止めになり、東京の代々木公園での観光物産展も中止、夢振の活動は宮原理事が続けたんかん・マンゴーや黒糖酒などの物産販売と定例の理事会・総会だけという状態が続いてきました。コロナが収まりつつあるようになり、やっと来月10月28日に天城町の施設で久しぶりの現地懇談会「夢振の20周年シンポジウム」を開催することになり、今後の花いっぱい運動の

本格的な再開とそのための諸課題について議論することになりました。(この間に花いっぱい運動の提唱者で初代フラワー委員長長の村岡清男様、副理事長兼徳之島事務所長の重岡堯夫様、長く専務理事を務められた松田健一様、さらに最近になり初代理事長として10年以上夢振を指導してこられた徳田昌則様が相次いで亡くなられたのは惜みてもあります。心からご冥福をお祈りする次第です。)

コロナの中で私が徳之島を訪問したのは、世界自然遺産登録を祝って伊仙町の「なくさみ館」で盛大に開催された祝賀行事に出席したときだけでした。その折り、重岡堯夫副理事長、畑山育男、貴島克仁両理事を含む数名の方々と一緒に懇談できましたが、その後暫くして重岡さんの急な訃報に接したことは残念でなりません。現在畑山、貴島の両氏は夢振副理事長、畑山さんは徳之島事務所長を兼ねておられ、今後のフラワー運動の再開に際し地元のとりまとめ役、調整役として期待申し上げている次第です。

	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 憲 章             </div>	みんなが自分の「夢」を持っている 「夢」を持ち続けることは生きる証 ふくらんだ「夢」は明日への力となる 「夢」の実現には努力がいる 「夢」の輪を広げよう みんなの「夢」は日本中の人の「夢」につながる 徳之島の「夢」を世界の「夢」の輪にしよう	
			「夢」の実生(みしよう=種から芽を出して成長すること)を表現 色彩・・・花は紅の情熱、葉は緑の活力 葉・・・双葉は象形文字の無限大、若芽は未来 花・・・歓喜・・・夢の表現

「夢振」の歴史を振り返ると、徳之島「夢」振興会議が発会したのは今を去る21年前の2002年6月のことでした。発会時のメンバーの熱い思いは、「夢」と名付けた憲章、設立趣旨、夢振のロゴマークに明らかです。

設立趣旨は、

- ① 徳之島を花いっぱい島にしよう（10年かけて花・木を100万本植えよう。）
  - ② 徳之島特産品の販売を拡大して徳之島の産業を育てよう。
- そして東京に徳之島産業振興館を建設することも、将来の目標とされたのです。

夢振の美しいロゴマークは皆さんご存じのとおり、天城町平土野出身の画家益満友忠氏が考案されたものです。紅色の「夢」の字を緑の若葉が、さらにその下で無限大の形をした双葉が支えています。私はこの美しいロゴマーク入りの名刺をいつも持っています。

夢振の発展は代々の専務理事、事務局長の献身的な努力もあって順調に進んできたと思います。2006年にはNPO（特定非営利活動法人）に認証され、会員等の寄付、賛助金をもとに徳之島での小・中・高校の入学記念植樹を始めとする花植え活動、東京での島唄祭りなどが実現しました。2008年6月に島を訪問した折り、母間の利元一郎会員が発表した夢振賛歌「花の徳之島」は今や島唄の定番になっています。2011年4月には、徳之島空港と亀徳新港で鹿児島県の委託を受けて設置・管理していた花壇・モニュメントについて、伊藤祐一郎知事（全国緑化フェア実行委員長）から奨励賞を受賞しました。さらに2012年10月には新設の伊仙町ほーらい館で夢振10周年記念の「花と緑のシンポジウム」を盛大に開催することが出来ました。徳之島で開催したシンポジウムは合計10回近くに及び、徳之島3町、県事務所、島のフラワーリーダーやボランティア団体と夢振との交流、相互理解に寄与してきました。

本土でも夢振の働きかけが契機になって、代々木公園イベント広場での徳之島観光・物産フェア in 東京が2013年2月にスタートし、関西で設立された一般社団法人「徳之島」との連携も進みました。

これまで夢振が徳之島で直接、間接に植樹（間接とは、小学校へのプランターの寄贈、夢振関係者以外からの寄贈されたものの植樹等）した花苗木等の本数は、村岡清男初代フラワー委員長の試算で3万9千本を超えています。そのうちハイビスカスが最多で1万300本、緋寒桜が約1100本、その他ブーゲンビリア、チューリップ、新顔のトックリキワタなどです。世界自然遺産登録への議論の中で徳之島の生態系についての理解が進む中、特にこれまで学校での植樹の中心であったハイビスカスなどは島の「外来種」であり、むしろ植栽を避けるべきだとの考えが強くなりました。その結果、近年の植樹の希望は桜、とくに緋寒桜に集中するようになり、一本単位で植樹することが多いトックリキワタなども顔を出すようになりました。（既に徳之島で桜の名所になった場所は10カ所に近いと思われます。）。これは夢振の予算や現地での植樹後のフォローアップ対応にも大きく影響することです。100万本の花の島は、コミュニティーのフラワーガーデン、観光対策にもなる公園の整備、街路脇の緑と花の植栽、プランター多数の設置・管理などを官民協力して総合的に実現する以外に無いでしょう。

10月28日に天城で開催する20周年シンポジウムでは、こうした環境変化の中でのフラワー活動について関係者が共通の理解を深めることが何より大切です。夢振が支援する小中高校入学時の植樹のあり方や種類、地域フラワーコミュニティーの植樹希望とそのため体制、風水害等のフォローアップなど、そしてこれらに対する夢振の支援内容等について改めて率直な意見交換をし、関係者全員の方針確定に資することです。夢振としては、この結果を受けて来年度の予算作成、そのための資金確保や組織改革に取りかかることとなります。（令和5年9月21日記）

## NPO 法人徳之島「夢」振興会議 理事長

(公社) 三州倶楽部 会長  
(財) 鹿児島奨学会 理事  
(財) 奄美奨学会 理事

NPOふくしま再生の会 監事

**横 田 捷 宏**  
(伊仙町出身)

Mail: [kayokota@jcom.home.ne.jp](mailto:kayokota@jcom.home.ne.jp)

糖質  
プリン体  
ゼロ

ほんのり甘く香る  
さらっとスッキリ。

島のナポレオン

長寿の島の黒糖焼酎  
**島のナポレオン**

(株)奄美大島いっや酒造 鹿児島県大島郡徳之島町白井474番地565  
TEL.0997-82-1650 FAX.0997-83-1246  
◎お酒は二十歳になってから。 ◎妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響する恐れがあります。

## NPO 法人徳之島「夢」振興会議 20年の歩み (徳田昌則理事長 2001～2014・横田捷宏理事長 2014～現在)

1. 2001年12月：発起人会議開催・・・名称を徳之島「夢」振興会議に決定
2. 2002年6月：徳之島「夢」振興会議 発会式 (憲章制定・設立趣旨の明文化)
- 2.1 設立趣旨
  - ① 徳之島を花いっぱい島にしよう (10年掛けて花・木を100万本植えよう)。
  - ② 徳之島特産品の販売を拡大して徳之島の産業を育てよう。
  - ③ 東京に徳之島産業振興館を建設して、物産販売・島人の交流促進・受験生や若者の経済的、精神的に側面支援をしよう。
3. 2002年11月：徳之島で島お興しアンケート実施・・・花いっぱい運動に対し82%の賛同得る。
4. 2003年3月：フラワーロード活動本格的スタート (フラワーロード活動支援金募集開始)。
5. 2003年6月：「夢」振ロゴマーク制定 (天城町平土野出身の益満 友忠氏考案)。  
「夢」の実生 (みしょう＝種から芽を出して成長すること) を表現  
色彩：花は紅の情熱、葉は緑の活力  
葉： 双葉は象形文字の無限大、若芽は未来  
花： 歓喜、夢の表現
6. 2003年9月：「夢」振主催で渋谷公会堂にて「奄美・徳之島 島唄「夢」まつり開催。



祝 奄美群島日本復帰50周年  
徳之島「夢」振興会議1周年

### 奄美・徳之島島唄「夢」まつり

2003年9月14日(日) 渋谷公会堂



主催 徳之島「夢」振興会議  
共催 天城町・伊仙町・徳之島町

#### 司会者

八波 一起 (喜劇役者 八波むと志 長男)  
佐藤 陽子 (元鹿児島テレビアナウンサー)

#### お祝メッセージ

国会議員：徳田 虎雄先生・保岡 興治先生・園田 修光先生・田中 達三氏 (東京奄美会会長)・  
勝 重蔵氏 (徳之島町町長)・大久保 明氏 (伊仙町町長)・吉岡 光一氏 (天城町町長)

7. 2004年6月：徳之島特産品の販売拡大協力事業として黒砂糖・豚味噌・パンパイヤ漬・他の販売開始
8. 2005年1月：広報誌「夢」振だより創刊号発刊 (2005年より「夢」振だより発行開始)。



←「夢」振の花できゅら島「徳之島」作りに全面協力 (徳之島総合陸運株の路線バス)

2005年1月～徳之島総合陸運株が「夢」振のフラワー運動に協力の一環として乗合バスの側面に「夢」振フラワー運動PR広告を無償で提供してくれた。

9. 2005年5月：新潟県山古志村へ地震復興を祈願して、義援金贈呈と闘牛大会友情応援バス4台貸切で150名で参加。



←山古志村も闘牛大会 (ここでは「牛の角突き」と云う) 有り  
2006年には山古志村で「全国闘牛サミット」開催  
「夢」振では本闘牛大会で復興祈願して義援金を贈呈

10. 2006年5月：「夢」振会員の徳和瀬出身力士「一ノ矢」氏による相撲甚句「夢振興会」

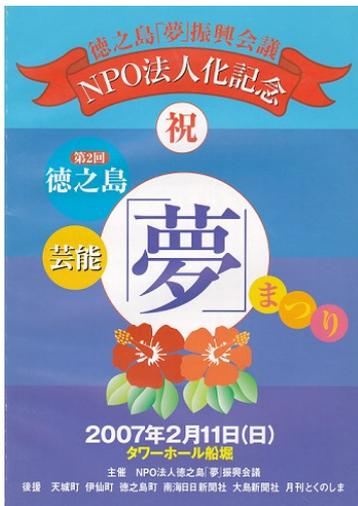
相撲甚句「夢」振興会(平成18年発表)

作詞 元力士：一ノ矢 (大相撲初の国立大出身力士)

本名 松田哲博(徳和瀬出身)

♪ (ハアー ドスコイ ドスコイ) ♪ハアーエー (ハアー ドスコイ ドスコイ) 故郷離れて 幾年月ヨー  
(ハアー ドスコイドスコイ)ハアー いつも心に 徳之島 青い海山 さとうきびチュッキヤイ節の  
三線(さんしん)の 唄にゆれる 赤花のハイビスカスやガジュマルと 全島一(ぜんとういち)の闘牛で  
熱き心を滾(たぎ)らせて 生きてきました 大和世(やまとうゆ)で せめて少しの恩返しフラワーロードに  
夢託しワイド祭りで 輪を広げ 山古志村まで 夢振興 この度目出度く NPO キバレー 島人(しまんちゆ)  
ヨーホホホイ ハアー 夢振興会ヨー (ハアー ドスコイ ドスコイ) ♪

- 11. 2006年9月：新潟県山古志村へ地震復興を祈願して、2回目の義援金贈呈と闘牛大会友情応援。
- 12. 2006年10月：「夢」振企画で第1回フラワーサミット開催・・・於：徳之島。
- 13. 2006年12月：「夢」振がNPO法人認可取得・・・NPO法人徳之島「夢」振興会議となる。
- 14. 2007年2月：徳之島特産品の販売拡大協力事業として「たんかん」販売開始。
- 15. 2007年2月：「夢」振主催で東京江戸川区「タワーホール船堀」にて第2回徳之島芸能「夢」まつり開催



司会者 定久 文三 (NPO 法人徳之島「夢」振興会議 専務理事)  
佐田 夏三 (伊仙町木之香出身：保育士)

お祝いメッセージ  
勝 重蔵氏 (徳之島町長)  
大久保 明氏 (伊仙町長)  
大久 幸助氏 (天城町長)

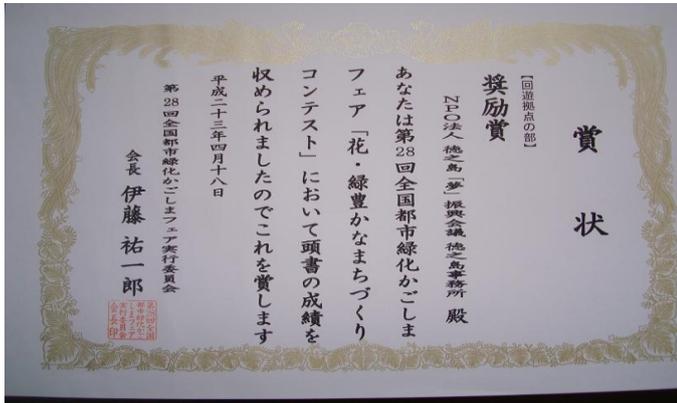
- 16. 2008年3月：徳之島特産品の販売拡大協力事業として「黒糖焼酎・ラム酒」販売開始・・・「夢」振酒販 免許取得。
- 17. 2008年6月発表：「夢」振 賛歌

花の徳之島

作詞 利 元一郎 (轟木出身・夢) 振会員) 作曲 久永 美智子 (名瀬出身)  
編曲 泉原 孝仁 (井之川出身) 振付 木村 浩子 (旧姓立花)

- 1. (男)咲いた咲いたよ ハイビスカスが 空の青さに 人情け 気候温暖 住みやすく 笑顔で語る  
島人(しまんちゆ)に(ソレ) (二人)心癒(こころい)す 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで
- 2. (女)咲いた咲いたよ 蘇鉄(そてつ)の花が 海の紺碧(あおぞら)に 夢染(ゆめぞ)めて 気候温暖 住みやすく 島の娘の  
やさしさに(ソレ) (二人)心ひらく 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで
- 3. (男)咲いた咲いたよ アダンの花が 母の笑顔(あした)が 目に浮かぶ 気候温暖 住みやすく 未来を語る  
島人(しまんちゆ)に(ソレ) (二人)心躍(こころおど)る 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで
- 4. (女)咲かせましょう 貴方の花も 溢れる思い 郷土愛 気候温暖 住みやすく 踊り明かした  
十五夜(いそよ)に(ソレ) (二人)心酔(こころよ)わせる 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで  
(この歌はカラオケ店で歌えます)

- 18. 2008年7月：徳之島特産品の販売拡大協力事業として「マンゴー・パイナップル」販売開始
- 19. 2008年12月：徳之島3町への「ふるさと納税制度」PRと協力事業スタート
- 20. 2009年5月：ベルマーク収集で1万点分天城町立天城小学校へ寄贈
- 21. 2011年1月：ベルマーク収集で1万点分伊仙町立馬根小学校へ寄贈
- 22. 2011年4月：第28回全国都市緑化かごしまフェア実行委員会より「回遊拠点の部」で伊藤祐一郎会長  
 ↓（鹿児島県知事）より「夢」振が奨励賞を受賞。 ↓徳之島の海の玄関口（亀徳新港）…県の委託で設置



↓鹿児島県から「夢」振が委託を受け、徳之島の空の玄関口（徳之島子宝空港）に歌壇・モニュメント設置



- 23. 2011年6月：「夢」振2011年度総会時 ウィリアムマイナー農業研究所客員教授 叶 芳和氏講演。



テーマ:物産・観光の発展策と島興し

叶 芳和 氏 プロフィール  
 1943年 奄美大島 加計呂麻島生まれ  
 一橋大学大学院博士課程終了  
 (財) 国民経済研究会理事長・会長  
 総合研究開発機構客員研究員  
 シンガポール東南アジア研究所客員研究員  
 現在：拓殖大学国際開発学部教授



- 24. 2012年10月：「夢」振創立10周年記念行事開催に当って、中曽根康弘先生より色紙拝受

第71代～73 内閣総理大臣 中曽根 康弘 先生  
 より「夢」振 10周年 お祝いメッセージの色紙です。  
 土屋 光男 氏(当時の徳田 昌則 理事長の友人)の依頼  
 で、書いて頂いて贈呈されました。

25. 2012年10月：「夢」振創立10周年記念行事「花と結のシンポジウム・懇親会」開催 於：伊仙町 ほーらい館



総合司会者  
重岡 堯夫（「夢」振徳之島事務所長）  
来賓：安栖 宏隆氏（前奄美統括振興官）・  
伊喜 功氏（大島支庁長）・谷川 靖夫  
（大島支庁徳之島事務所長）・大久保明氏  
（伊仙町長）・高岡 秀規氏（徳之島町長）

26. 2013年2月：「徳之島観光・物産フェア in 東京」（代々木公園イベント広場で開催される関東徳州会主催のイベント）  
（2013以降毎年恒例となった、2月開催の本イベント立上は「夢」振の強力なバックアップで実現）

27. 2013年6月：「夢」振通常総会後第二部として「夢」振創立10周年記念行事開催（目黒 さつき会館）  
（10周年記念として奄振を管轄する国土交通省国土政策局特別地域振興官…岡野克弥氏による特別講演会開催）  
（来賓祝辞：高岡 秀規 徳之島町長・英 辰次郎 東京 奄美会会長）



テーマ：奄美振興 岡野 克弥氏プロフィール 1962年 千葉県生まれ  
東京大学大学院工学部卒業  
旧通産省入省・通産省自動車課総括係長  
アメリカ スタンフォード大学留学  
北海道経済産業局総務課長  
（株）日本製鋼営業担当部長  
経済産業省 宇宙産業室長  
国土交通省国土政策局特別地域振興官（政府の奄振担当振興官）  
現在：製造産業局 航空機武器宇宙産業課 宇宙産業室長

28. 2014年2月：「第2回徳之島観光・物産フェア in 東京」に出店・・・徳之島産販売協力事業実施

29. 2014年4月：ベルマーク収集で1万点分徳之島町立神之嶺小学校へ寄贈。

30. 2014年6月：「夢」振2014年度総会時徳之島観光大使サンコン氏による講演会開催  
テーマ：「日本とギニア・徳之島とギニア」



31. 2015年2月：「第3回徳之島観光・物産フェア in 東京」に出店・・・徳之島産販売協力事業実施。  
 32. 2015年6月：「夢」振2015年度総会時 鹿児島県東京事務所 次長 本田 勝規氏講演。



テーマ：奄美振興と世界自然遺産  
 本田 勝規 氏 プロフィール  
 1959年 奄美大島生まれ（両親は龍郷町出身）  
 幼稚園まで名瀬で育つ。その後関西へ  
 1981年 京都大学 法学部卒業  
 1981年 鹿児島県庁入庁・大島支庁でも2回勤務  
 県離島振興 課長・ 県東京事務所 次長  
 県企画部次長兼交通政策 総括監  
 現在：県鹿児島地域振興 局長

33. 2016年2月：「第4回徳之島観光・物産フェア in 東京」に出店・・・徳之島産販売協力事業実施  
 34. 2016年3月：関西の「夢」振と同じような活動組織「一般社団法人 徳之島」と連携協議会開催。  
 35. 2016年5月：「夢」振2016年度総会時 内閣府地方創生推進室 参事官 塩田 康一氏講演。

テーマ：地方創生への取組



塩田 康一氏 プロフィール  
 1965年 鹿児島市生まれ  
 東京大学法学部卒業  
 旧通産省入省・自然エネルギー庁石炭部計画課総括係長  
 大蔵省国税庁熊本国税局 人吉税務署長  
 外務省在イタリア日本国大使館 参事官  
 中国経済産業局総務企画部長  
 内閣官房地域活性化統合事務局 参事官  
 内閣府地方創生推進室 次長  
 現在：鹿児島県知事

36. 2016年11月：表敬訪問：鹿児島県徳之島事務所・徳之島3町役場・徳之島高校・樟南第二高校。  
 37. 2016年11月：新設徳之島高校10周年記念行事出席。  
 38. 2017年2月：「第5回徳之島観光・物産フェア in 東京」に出店・・・徳之島産販売協力事業実施



39. 2017年6月：「夢」振2017年度総会開催  
 エアー奄美(株) 井藤守仁 会長 「 에어奄美(株)の現状と将来計画」について講演  
 エアー奄美(株) 山田淳子 教育担当 社員 「おもてなし」について講演  
 武蔵野大学 学生(6人) 今夏実施する「映像による徳之島」紹介の抱負  
 解説。川村学園女子大学名誉教授 酒井 正子氏 「田植え歌の風景等と文化財の意義」について映像で解説

← 39-①：1～2年以内に関西空港～鹿児島～奄美群島～格安航空機  
 運航を語る 에어奄美(株) 井藤守仁 会長 (徳和瀬出身)



← 39-②：「おもてなし」について語る山田淳子氏 (元 ANA 教育担当)  
 (おもてなしの基本は深々と頭を下げる姿勢が最重要)



←39③：「映像による徳之島紹介」の抱負を語る武蔵野大学生  
小幡 優芽美氏、永濱 まどか氏、杉本 由夏氏、  
小島 さやか氏、守田 詩帆菜氏、大淵 鞠子氏



←39④：酒井 正子先生（川村学園女子大学名誉教授）  
（30年以上に亘り、徳之島を中心に奄美全体・沖縄に至るまで  
文化・芸能・慣習等あらゆる分野で研究を続けている第一人者）  
映像を見ながら「徳之島に於ける稲作作り」の風景（田んぼの  
周辺を「田植え歌」を歌いながら田んぼの中では苗を植えて行く）  
を解説。同時に韓国や他の地域との稲作作りの共通点等について  
も詳しく解説して頂いた。

40. 2017年12月：「夢」振2017年度臨時総会兼忘年会開催  
この時「夢」振 横田捷宏理事長及び徳田昌則前理事長の国家の叙勲である「瑞宝章中綬章」の受賞祝賀会実施。



さんさ時雨（祝いの舞）  
木村浩子理事（旧姓 立花 名取・踊り師匠）



井上理事・宮原理事より花束贈呈

41. 2018年5月：「第6回徳之島観光・物産フェア in 東京」に出店・・・徳之島産販売協力事業実施。  
42. 2018年5月：「夢」振 四本博文理事が実行委員長となって「泉重千代翁33回忌祭」が阿三の翁生家広場で盛大に  
挙行。本法事に「夢」振横田理事長始め大勢の会員が出席。同時に翁銅像周辺に桜の木10本植樹。  
43. 2018年5月：「夢」振 河島 良政副理事長中心に同期会メンバー昭和20年生花見をしながらの全国同窓会に備え  
緋寒桜成木5本追加で植樹（徳之島町）



徳之島町総合グラウンドに昭和20年生の同期会帰郷記念  
（緋寒桜）：5本植樹